

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並会館維持運営						整理番号	84	枝番号	
担当部課名	区民生活部管理課	コード	050101	連絡先 電話番号	3754	昨年度 整理番号	87	昨年度 枝番号			
係名	庶務係	上位施策名						No			
予算事業名	杉並会館維持管理	コード	12350	地域活動の推進						67	
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード						
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区に在住・在勤・在学者、区内事業者及び団体、その他利用を希望する者		(1) 杉並区立杉並会館条例・同施行規則 (2) 杉並区立行政財産使用料条例・同施行規則 (3) 杉並区立杉並会館処務規程							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	会館施設(宴会室、集会室)を地域住民等の利用に供するため、会館施設の維持管理を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持管理・運営により、地域活動の場を提供する。							
	活動指標名(式)	(1) 利用回数(宴会室3室、集会室3室) (2) 利用人数(宴会室3室、集会室3室)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 稼働率(利用回数 ÷ 利用可能枠) (2) 対区民利用率(利用人数 ÷ 区民人口)							
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	回	2,333	2,500	2,593	2,500	2,592	2,600	2,900	89.4	
	活動指標(2)	人	48,047	50,000	49,170	50,000	49,156	50,000	52,000	94.5	
	成果指標(1)	%	43	46	47	45	47	47	51	92.2	
	成果指標(2)	%	9	10	9	10	9	10	15	60.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	69,929	83,188	71,027	78,068	74,688	60,415	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	53,338	53,358	53,375	57,138	56,615	44,316			
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.63	1.00	0.85	0.80	0.83	0.80	平成10年結婚式場機能廃止 平成15年第5展示室をアニメ資料室に転用 平成16年度展示室4室、多目的室、宴会室1室廃止 平成17年3月アニメミュージアム開設  平成18年度までの予算は、委託料、光熱水費について、アニメミュージアム分を含んでいたが、平成19年度予算から産業経済課のアニメミュージアム運営費と按分して計上している。		
	人件費	千円	5,733	9,060	7,701	7,248	7,520	7,248			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,733	9,060	7,701	7,248	7,520	7,248			
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	75,662	92,248	78,728	85,316	82,208	67,663			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	32,431	36,899	30,362	34,126	31,716	26,024			
	財源	受益者負担分	千円	8,835	11,751	9,800	10,691	9,590			9,761
国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	8,835	11,751	9,800	10,691	9,590	9,761			
差引: 一般財源 -		千円	66,827	80,497	68,928	74,625	72,618	57,902			
受益者負担比率 ÷	%	11.7	12.7	12.4	12.5	11.7	14.4				
18年度の主な取組み	内 容		規 模					単位	事業費(千円)		
	建物総合管理委託(委託等)								38,499		
	施設維持管理(光熱水費等)								17,599		
	受付案内業務委託(委託等)								13,457		
	設計管理委託(委託等)								3,150		
	その他 ( 警備委託、樹木管理委託等 )								1,983		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	84	枝番号	
------	----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	103.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	98.3	18年度予算 執行率%	95.7
	計画どおりの活動量であったため、計画どおりの予算執行が行われた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成18年度に行った耐震診断の結果、建物形状から一部柱の補強が必要とされるものの、震度6強の地震にも耐えられるものとして、引き続き使用することが可能であるとの結果が示された。この結果を踏まえ、今後の施設のあり方について現在検討を進めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和42年会館後39年が経過。平成10年に従前の結婚式場機能を廃止し展示室、多目的室等を設置。平成15年4月に展示室の一部をアニメ資料室に転用。平成16年4月に展示室、多目的室、宴会室羽衣を廃止。平成17年3月に、展示室をアニメーションミュージアムに転用。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特に無し。				
	今後の予測	建設後39年を経過した当該施設は、老朽化に伴い、建物本体のみならず電気、給排水、空調和、昇降機等の設備について大規模改修が必要な状況となっている。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 現在杉並区の公共施設の中では、宴会室機能をもった施設は他にはなく、また、集会室の需要も多いことから、区民の地域活動の拠点の一つとして、地域のコミュニティ形成に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 今後、継続して当該施設を使用するためには耐震診断結果に基づく補強や設備の改修が必要であり、その分の経費が増大する見込みである。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設使用料の見直しや地域団体登録使用料制度の減額措置廃止等により、受益者負担を見直す余地はある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設維持管理の一括委託や駐車場の賃借の廃止などを既に実施し経費削減に努めている。老朽化による設備改修費の増大が見込まれる中で、現状以上のコスト減を行うためには受託業者への委託費削減以外に方法はない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 建物等総合管理業務及び窓口受付業務委託、機械警備委託、電気工作物保安業務委託を実施している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 成果「増」を考えているが、杉並会館の老朽化や耐震診断の結果等を踏まえ、現在、部内で「杉並会館のあり方検討」を行っている。建物自体の取扱い(改築、改修、廃止)を含め、現行事業を存続するか、転用するか、廃止するか等、杉並会館の今後のあり方について本年度中に結論を出す予定である。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 検討結果が「廃止」若しくは「転用」との結論となった場合、利用者の理解を得る必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 「杉並会館のあり方検討」の結果次第では、当該事業にかかる予算見積の方向性は減若しくは大幅増となる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民事務所等施設の保守・維持管理						整理番号	90	枝番号		
担当部課名	区民生活部 地域課	コード	050504	連絡先電話番号	3765	昨年度整理番号	92	昨年度枝番号				
係名	地域施設係	上位施策名						No				
予算事業名	区民事務所維持管理	コード	12550	地域活動の推進				67				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民事務所及び区民事務所会議室の利用者		(1)								
				(2)								
				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民事務所(分室を含む)及び区民事務所会議室の施設設備保守・維持管理				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設利用に際して、利用者が不快感等を持つことがないように、施設設備を良好な状態に保つ。その結果として利用率の向上も期待され、地域活動の推進が図られる。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
	(1) 区民事務所及び会議室建物総面積				(1) (代) 予算執行率							
	(2)				(2) (代) 会議室利用率(利用回数 ÷ 利用可能回数)							

  

区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
		計画	実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	㎡	8,447	8,447	8,447	7,913	7,913	7,913	7,913	100.0			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%	78	100	79	100	76	100	100	76.0			
	成果指標(2)	%	50	51	56	59	54	55	55	98.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	50,688	63,128	50,453	60,130	46,169	59,298	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	26,567	29,087	26,127	26,583	23,958	26,650					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.22   0.00	2.32   0.00	2.23   0.00	2.23   0.00	2.29   0.00	2.29   0.00	・受益者負担は敷地使用料及び会議室管理人光熱水費負担金である。(会議室使用料は「区民事務所会議室運営」事業に充当) ・人件費の増は従事職員の実態に合わせて調整している。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,002	21,019	20,204	20,204	20,747			20,747		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	52,690	84,147	70,657	80,334	66,916	80,045					
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	6,238	9,962	8,365	10,152	8,456	10,116					
	財源	受益者負担分	千円	549	497	332	213	400			436		
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	549	497	332	213	400	436					
差引: 一般財源 -		千円	52,141	83,650	70,325	80,121	66,516	79,609					
受益者負担比率 ÷	%	1.0	0.6	0.5	0.3	0.6	0.5						
18年度の主な取組み	内 容							規 模					
	区民事務所等維持管理(区民事務所5所、分室2所、会議室18所)							25	所	46,169			
	その他 ( )									0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 90 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	76.8
		建物修繕費について63.9%(対計画額)と抑えられた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		管理方法について、他事業で18年9月から定期的な夜間巡回パトロール・点検を行っている。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度の組織改正により、17出張所が7区民事務所、2分室、1サービスコーナーに統廃合された。廃止した旧出張所は目的外利用の会議室として利用することになった。15年度末までに5施設を多目的集会機能を持つ会議室へと改修を行った。平成18年4月から高円寺会議室を区民集会所として開所。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・会議室利用の苦情 近隣住民より騒音等利用者のマナーが悪いという指摘がある 設備のトラブルが発生した際に、施設に職員が常駐していないため、問題発生時に即時対応ができないという指摘がある。				
	今後の予測	・施設の老朽化にともなう、大規模修繕及び設備修繕の必要性が増す。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:安定した利用件数は、施設が幅広く活用され、周知浸透されている				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: さらに施設の利用環境の整備のためには、施設の改善が必要になる 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 管理人の負担する光熱水費の適正な設定				
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 一部の施設で、使用料の徴収や鍵の受け渡しの委託を行っている。 (受付業者等)				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・無人会議室の管理方法の改善により、近隣住民及び施設利用者ともに満足度の高い施設にする。 ・老朽化した施設、設備機器を改修するとともに備品等の充実を図ることにより、利用しやすい施設整備を行っていく。 ・区民事務所とともに区民会議室の現状を認識し今後のあり方を検討していく。」	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設改修及び設備の充実を図っていくためには、相当の投資が必要となる。投資した費用や増大する施設管理コストをまかなっていくためには、適正な使用料の設定・使用目的等の検討が求められる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 施設の老朽化に伴い、適正な維持管理のために緊急修繕及び改修経費の増加が見込まれる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		町会・自治会活動支援						整理番号	97	枝番号						
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501		連絡先電話番号	3764	昨年度整理番号	99	昨年度枝番号							
係名	区民生活部地域課	上位施策名						No								
予算事業名	町会・自治会活動支援	コード	11450		地域活動の推進						67					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	63 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	4	政策番号	5	施策番号	1	事業コード	1		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区内の町会・自治会(161町会)、杉並区町会連合会、杉並区地区町会連合会(17地区)		根拠法令等		(1) 杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助金交付要綱 (2) 杉並区町会・自治会館建設等補助金交付要綱 (3) 町会・自治会等の認可に関する事務処理要綱								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	町会・自治会の申請を精査し、会館建設及び掲示板設置経費の50%(上限額:会館24,000千円、掲示板1基につき30千円)を助成する。 ・杉町連、地区町連、各町会に対し、相談、連絡調整等を行う。 ・主に転入者に対して案内ちらし・町会区域図を配布し、町会に関する情報を提供する。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)		・掲示板や自治会館が設置されることにより地域における活動の拠点と意見交換・発信の手段が得られる。 ・町会・自治会活動を通じて地域の発展と住みよい環境づくりを推進できる。 ・町会を理解し加入する区民が増え、町会・自治会活動が活性化する。										
	活動指標名(式)	(1) 町会・自治会掲示板設置等助成数 (2) 町会・自治会会館建設助成数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 町会・自治会掲示板助成数の増加割合(前年度比) (2) 町会・自治会加入世帯 / 区内世帯数(4月1日現在)(代)												
指標	区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)	基	57		50 84		50 79		50		50	158.0				
	活動指標(2)	館	0		0 0		1 1		1		1	100.0				
	成果指標(1)	%	60		54 147		60 94		60		60	156.7				
成果指標(2)	%	57		57 56		57 53		57		60	88.3					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,445		2,035		1,701		2,385		2,673		4,893		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円														
	(内) 委託費	千円														
	職員数(常勤   非常勤)	人	8.12	0.00	8.12	0.00	7.81	0.00	7.81	0.00	8.02	0.00	8.02	0.00	平成19年度は財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成金を申請する予定。	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	73,892		73,567		70,759		70,759		72,661		72,661		
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		0		
	総事業費 + +	千円	75,337		75,602		72,460		73,144		75,334		77,554			
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,321,702		1,512,040		862,619		1,462,880		953,595		1,551,080			
	財源	受益者負担分	千円													
		国・都等からの支出金	千円									2,200				
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		2,200			
差引: 一般財源 -		千円	75,337		75,602		72,460		73,144		75,334		75,354			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)							
	町会・自治会館等の建設等助成						1	館	516							
	町会・自治会専用掲示板設置等助成						79	基	1,485							
	杉並区町会連合会連絡調整						17	地区	278							
	その他 ( )								394							

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 97 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	158.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	112.1
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		これまで随時申請としていたが、一斉申請とすることで周知徹底が図れることから平成15年度に、杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助金交付要綱を見直した。これに基づき、掲示板の助成を行い、各地区町会連合会に新たな補助金の制度の定着に努めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	町会加入率は減少または横ばい傾向にある。また、町会役員の高齢化や後継者難にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ポスター掲示やチラシの回覧などの依頼件数が増加傾向にあり、委託金の増額等を考えてほしい。また、委託事項について、負担感を訴える声もある。					
	今後の予測	会館建設補助：新規は数年に1回程度で、既存の会館に対する修繕補助の需要が見込まれる。掲示板：助成基数が年々増加しており、今後も需要は増加していく。 マンション世帯の増加や多様な価値観の中、町会加入率の急激な上昇は難しい。しかし、災害時や防犯に関するボランティア活動・行政との連携など、町会が地域で果たす役割は一層重要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 中(理由 )	理由：会館は、地域の会合だけでなく葬祭などにも利用され、地域福祉の向上に貢献している。掲示板は、町会未加入者も恩恵を受けうるため、地域での情報交換、伝達に寄与している。また、町会活動の活性化を支援することで、区民が身近な地域での交流を深めることに寄与できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：掲示板を活用し、町会の活動や情報を提供し加入を促す。また、地域活動係による、よりきめ細かい町会・自治会の活動支援を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：掲示板設置にあたって新設の場合、工事費用が税込みで7万円以上かかっており、現状でも受益者負担は大きい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容：掲示板については、区掲示板同様PFI方式の導入を視野に入れた検討をしてもらう。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 良好な地域社会を実現することは区の使命であり、町会・自治会に対する支援の面からも、もっとも身近な行政である区が対処すべきである。掲示板を活用し、町会の活動や情報を提供し加入を促すとともに、区からのお知らせを住民に周知するために大きな役割を果たしている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 役員の高齢化や後継者難、加入率の低迷といった課題が一樣に指摘されている。安全安心の住みよいまちづくりを築いていく上で町会・自治会の活性化は不可欠であり、今年度支援策を体系的に整備・検討していく。 町会掲示板の助成について：設置場所について、必要に応じて地域課が許認可事務等の仲立ちを努めることなどを通じより多くの町会が身近な地域の情報源としてこれまで以上にこの制度を活用できるようにしていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 掲示板の整備に町会・自治会の支援策の実施に際して成否のかぎをにぎるのは町会・自治会の危機意識と改善意欲である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区掲示板維持管理及び掲示物管理					整理番号	98	枝番号		
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501	連絡先電話番号	3764	昨年度整理番号	100	昨年度枝番号			
係名	地域係	上位施策名					No				
予算事業名	地域住民活動推進	コード	11550	地域活動の推進					67		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区掲示板に掲示する掲示物取扱要領 (2) 杉並区区民専用掲示板管理要綱 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	(1)区掲示板の維持管理および掲示物の管理 (2)公衆浴場内へのポスター掲出 (3)区民専用掲示板の維持管理		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1)(2)区からのお知らせを区民に広く周知する。 (3)区民相互の情報交換の場を提供する。							
	活動指標名(式)	(1) 区掲示板設置基数 (2) 区民専用掲示板設置基数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区掲示板へのポスター掲出枚数(代) (2)							
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	基	489	489	441	530	432	530	530	81.5	
	活動指標(2)	基	127	127	127	170	132	170	170	77.6	
	成果指標(1)	枚	40,510	40,510	34,048	43,370	35,923	43,370	43,370	82.8	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,416	5,272	3,257	5,305	2,695	5,060	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.58   0.00	0.58   0.00	0.78   0.00	0.78   0.00	0.70   0.00	0.70   0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,278	5,255	7,067	7,067	6,342	6,342		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	10,694	10,527	10,324	12,372	9,037	11,402			
	単位あたりコスト( - )÷	円	21,869	21,528	23,410	23,343	20,919	21,513			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	10,694	10,527	10,324	12,372	9,037	11,402			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	屋内掲示板(委託等)						43	浴場	2,515		
	屋外掲示板						67	基	174		
	区民専用掲示板						3	基	6		
	その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	98	枝番号	
------	----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	81.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	77.6	18年度予算 執行率%	50.8
		NPO法人側の体制等の課題により建替え計画が当初より遅れていることから、維持管理を行うことが出来ず、分担金が未執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民専用掲示板及び屋外掲示板についてNPO法人が整備・維持運営を担うPFI方式により、掲示板のリニューアルを図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区掲示板について:平成12年度から、町会・自治会に毎月1回ポスターの掲出を委託している。公衆浴場内掲示板について:公衆浴場は、昭和57年の106軒から減少し、平成19年3月は43軒であった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区掲示板について:掲示期間(現行1ヶ月間)をもっと長くしてほしい。より多くの区民の目に触れる場所に移設してほしい。老朽化しているものについては、すみやかに修繕してほしい。掲示するポスターについて、大きさを統一してほしい等の要望がある。					
	今後の予測	インターネットがさらに普及していくなかで、パソコンに接する機会が少ない区民との情報格差を生じないように注意しなければならない。公衆浴場数および公衆浴場利用者数は今後も減少が続くと予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:ポスターによる情報提供は、まだ需要が多い。また、各主管課からの掲示依頼も増加傾向にある。また、区民専用掲示板は区民相互の情報交換の場として非常に需要が多い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区掲示板・区民専用掲示板について、現地調査など地域活動系の機動力を活かし、迅速できめ細かな維持管理を行っているが、PFI方式導入により、より迅速で効率的な維持管理がで					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:事業の性質上、ポスター掲出者に経費を負担させることはできない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:PFI方式を引き続き推進する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 PFI方式による掲示板の維持管理の主体となるNPO法人による掲示板建替え及び板面性相当の日常の管理を実施する。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 NPO法人と20年間の協定を結び、PFI手法により維持管理し、目標値まで随時増設していく。広告収入が増えれば、負担金が軽減される。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 広告収入を増やしていくためには、NPO側の努力と企業側の理解が欠かせない。区もNPO側の努力を後押しし、企業等へのPRや普及啓発に協力していく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域活動事務(庶務事務)				整理番号	99	枝番号				
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501	連絡先電話番号	3763	昨年度整理番号	102	昨年度枝番号				
係名	地域係	上位施策名				No						
予算事業名	地域住民活動	コード	11550	地域活動の推進				67				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) (2) (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	事務事業の執行に各職員が必要とする事務用品の購入、郵送費の支出事務処理		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 効率的で無駄のない予算執行を図る								
	活動指標名(式)	(1) 地域課職員数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 予算執行率 (2)								
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	43	42	44	39	39	37	37	105.4	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,865	2,106	2,302	1,702	1,692	1,776	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.75	1.75	1.68	1.68	1.72	1.72	17年9月の水害対応により、役務費に補正予算42万円が組み込まれた結果、17年度の事業費の実績額が計画額より増加している。また、平成18年度から活動指標(1)について、すぎなみ地域大学職員数の除いた。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	15,925	15,855	15,221	15,221	15,583	15,583			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	17,790	17,961	17,523	16,923	17,275	17,359			
	単位あたりコスト( - )÷		円	413,721	427,643	398,250	433,923	442,949	469,162			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	17,790	17,961	17,523	16,923	17,275	17,359				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		区民事務所管理 需用費						786				
		地域活動事務 役務費						288				
		地域活動事務 需用費						618				
		その他 ( )						0				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 99 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	99.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年11月の文書管理システムの導入により、文書の電子化と一元化が図られ、また、庁内LAN、複合機の活用により、一層のペーパーレス化が進んだ。18年度は区民事務所管理の需用費のうち、複合機の設置台数が増加したため経費が増加したが、17年度にあった事務処理委託料が減となったため、地域活動事務としてはトータルで約40万円の経費削減となった。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年4月に組織改正により地域課が誕生した。本庁と地域活動係との連絡は、当初FAXや庁内交換により行っていた。平成14年度にPCが職員一人1台整備されたことにより、各種通知、調査回答などの事務を庁内LANにより行うことができるようになり、事務の効率化・情報伝達の迅速化が図られた。また、平成15年度に文書管理システム及び複合機が導入されたことにより、決裁・供覧事務の迅速化、ペーパーレス化が進んだ。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	今後予定されている、新財務会計システム、庶務事務システム等との業務連携により、さらに事務の効率化が進むと思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由： 課内の基礎的事務費であり、必要性は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ )	理由または具体的内容：				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 今後予定されている新財務会計システム、庶務事務システム等との連携により、ペーパーレス化、事務の効率化が進むと思われる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 課内の事務を遂行するための経費であり、受益者負担は生じない。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容 )	理由または具体的内容： 新財務システム等の開発により、さらなるコスト減(特に帳票、用紙類)が図られる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方：	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新財務システム、庶務事務システム等の活用により、一層のペーパーレス化、事務の効率化を進める。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	新財務システム、庶務事務システム等との業務連携により、事務用消耗品(特に用紙、帳票類)の削減が可能である。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民事務所会議室運営						整理番号	100	枝番号	
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501	連絡先 電話番号	3763	昨年度 整理番号	103	昨年度 枝番号			
係名	地域係	上位施策名						No			
予算事業名	地域住民活動推進	コード	11550	地域活動の推進						67	
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策 番号	施策 番号	事業 コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 会議室利用者		(1) 杉並区行政財産使用料条例、同施行規則 (2) 杉並区区民事務所会議室の目的外使用及び使用料減免取扱要綱 (3) 杉並区地域団体の登録等に関する要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区民事務所会議室の維持運営、目的外使用の貸し出し業務		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持運営を行うことにより、地域コミュニティ活動の場を提供する。							
	活動指標名(式)	(1) 利用回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 利用率(使用回数 ÷ 利用可能回数) (2)							
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	回	26,865	27,650	29,832	31,430	25,520	31,430	34,626	73.7	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	50	51	56	59	47	59	65	72.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,500	9,212	5,521	7,365	3,674	10,410	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	1,556	6,105	3,083	5,416	2,888	8,433			
	職員数(常勤   非常勤)	人	2.20   2.00	2.20   2.00	2.12   2.00	2.12   2.00	2.18   2.00	2.18   2.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	20,020	19,932	19,207	19,207	19,751	19,751		
		非常勤職員分	千円	5,760	5,780	5,780	5,660	5,660	5,660		
	総事業費 + +	千円	29,280	34,924	30,508	32,232	29,085	35,821			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	1,090	1,263	1,023	1,026	1,140	1,140			
	財源	受益者負担分	千円	16,264	15,132	16,701	14,788	17,721	15,587		
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	16,264	15,132	16,701	14,788	17,721	15,587			
差引: 一般財源 -		千円	13,016	19,792	13,807	17,444	11,364	20,234			
受益者負担比率 ÷	%	55.5	43.3	54.7	45.9	60.9	43.5				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	夜間パトロール(委託等)						12	月	1,512		
	点検及び鍵回収(委託等)						1,360	件	1,376		
	需用費								786		
	その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	100	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	81.2	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	49.9

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	無人会議室における夜間使用者の無断延長、近隣住民への迷惑行為防止のため、平成17年9月から夜間パトロールを実施した。無断延長者の退出勧告、施設の点検が実施され、迷惑行為等が防止された。また、委託業者からの報告により、夜間会議室の実態が把握でき、効果的な防止策が取れるようになった。					
---	--	--	--	--	--	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度の組織改正により、17出張所を7区民事務所2分室1サービスコーナーに統廃合した。その後、空いた出張所を改築し、多目的機能を持たせた会議室に改修し利用拡大を図った(5会議室、13~14年度)。平成15年9月から公共施設予約システムによる予約の開始、地域区民センター(7ヶ所)、区民集会所(3ヶ所)で利用料の支払い及び会議室の鍵貸し出し窓口の拡大を図った。平成16年11月には高井戸社会教育会館を改修し、浜田山会議室として貸し出しを開始した。平成17年12月15日から高円寺北会議室を高円寺北区民集会所に改修した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	鍵の貸し出し及び使用料収納窓口を拡大したことにより、以前よりは利便性の向上が図られているが、無人会議室及び夜間、土日利用については事前に手続きをとる必要がある状況は変わらず、利用者側に不便をかけている。また、鍵の自主管理に係わるトラブル、利用マナーについて苦情がある。				
	今後の予測	公共施設予約システム導入後、会議室の近隣住民中心の利用層から区内全域さらに区外者の利用も増え、利用の拡大が図られてきている。しかし、無人の施設については、利用者側に不便をかけている現状や、鍵の自主管理に関するトラブルも発生している。また、利用マナーについての苦情もあり、夜間パトロールの強化、張り紙を行う等工夫を図っていく必要がある。				

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由： 会議室利用者に地域コミュニティ活動の場の提供を行っているという点では、施策へ貢献していると思われるが、管理体制の見直し及び更なる利用率の向上を図る必要がある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 区民事務所会議室は目的外施設という位置づけにあるため、政治活動、宗教活動、営利を目的とする活動は禁止されている。利用者の拡大を更に進めていくためには、位置づけの変更が必要になると思われる。また、無人会議室における利用については、巡回警備等による管理体制の強化が必要となっている。 理由または具体的内容： 夜間パトロール等の実施回数増などの工夫により、無人会議室の管理を徹底していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容： 団体登録使用料制度の見直し等により、減額措置の廃止等、適正な利用料金とすることが可能である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容： 無人会議室における様々な弊害を解消するための対策を進めていくコストが必要となる。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：	<input checked="" type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題： 使用料の徴収、鍵の貸し出し、建物の点検及び鍵の回収業務、夜間パトロールについては、委託を実施している。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 団体登録使用料制度における使用者負担率の適正化を検討する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 団体登録使用料制度の使用者負担率の適正化については、会議室利用者の理解、他施設との整合性を図る必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 近隣住民の苦情や要望等に対応していくため、無人会議室における利用については、巡回警備等による管理体制の更なる強化が必要のため。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			地域集会施設事業運営					整理番号	101	枝番号					
担当部課名			区民生活部地域課		コード	050501	連絡先 電話番号	3763	昨年度 整理番号	104	昨年度 枝番号				
係名			地域係		上位施策名					No					
予算事業名			地域住民活動推進		コード	11550	地域活動の推進					67			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 地域集会施設運営協議会(町会・自治会、商店会、PTA、青少年育成委員、民生委員等の各種団体からの推薦又は公募により選出された委員で構成される団体)						(1) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例 (2) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例施行規則 (3) 杉並区地域集会施設等運営協議会事業に対する補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			教養趣味の講座・教室、まつり等のイベント、各種懇談会の実施、地域区民センター報の発行等地域集会施設における事業運営費として補助金を交付する。また、阿佐谷・高井戸・永福和泉地域区民センター図書室の運営を、人件費・事務費相当分の金額で当該運営協議会に委託する。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動指標名(式)			(1) 事業参加者数 (2) 事業開催回数						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)事業1回あたりの参加者数 = 事業参加者数 ÷ 事業開催回数 (2)					
指標		区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
					計画	実績	計画	実績							
		活動指標(1)	人	78,765	85,000	90,454	92,000	90,167	92,000	95,000	94.9				
		活動指標(2)	回	703	750	701	710	699	710	720	97.1				
		成果指標(1)	人	112	113	129	130	129	130	132	97.7				
		成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費			千円	157,206	159,053	156,995	159,113	155,821	158,829	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等			千円											
	(内) 委託費			千円	29,504	30,276	27,884	29,865	27,343	30,385					
	職員数(常勤   非常勤)			人	1.97	1.97	1.90	1.90	1.95	1.95	平成14年度に荻窪・阿佐谷・高円寺の3か所、平成15年度に残り4か所について、運営協議会が受託していた各地域区民センター及び区民集会所の施設管理及び受付業務を民間に委託した。これにより、補助金の額は、運営協議会事務局職員人件費を補助金に加えたため、事業費が増加している。また、平成15年度から阿佐谷・高井戸・永福和泉地域区民センター図書室の運営管理を各運営協議会に委託したため、委託費分が事業費として増加している。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)			千円	17,927	17,848	17,214	17,214	17,667		17,667			
		非常勤職員分			千円	0	0	0	0	0		0			
	総事業費 ++			千円	175,133	176,901	174,209	176,327	173,488	176,496					
	単位あたりコスト( - )÷			円	2,223	2,081	1,926	1,917	1,924	1,918					
	財源	受益者負担分			千円	968	1,000	730	1,000	1,619		1,500			
		国・都等からの支出金			千円										
特定財源計 +			千円	968	1,000	730	1,000	1,619	1,500						
差引: 一般財源 -			千円	174,165	175,901	173,479	175,327	171,869	174,996						
受益者負担比率 ÷			%	0.6	0.6	0.4	0.6	0.9	0.8						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		運営協議会事業補助金						7	所	125,662					
		地域区民センター図書室運営(委託等)						3	所	29,865					
		地域区民センター図書室図書購入・図書室修繕						3	所	3,135					
		運営協議会事務費						3	所	451					
		その他 ( )								(3,292)					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 101 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	98.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	98.5	18年度予算 執行率%	97.9
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		図書室の個人情報管理におけるセキュリティ向上のため、阿佐谷・永福和泉の2センターにおいて、図書室入口の改修工事を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	運営協議会の開設以来、地域集会施設の運営管理全般にわたり業務の委託をしてきたが、平成15年度に全ての地域集会施設にかかる施設管理及び受付業務を民間業者へ委託した。これに伴い、運営協議会の担う役割が地域コミュニティ形成にかかる事業の企画・実施が主となり、事業目的が明確化された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	これからの運営協議会は、これまでに形成された地域コミュニティの活力向上・充実を図り、地域の諸課題解決能力を養うような事業展開が必要となっている。一方、運営協議会委員の確保が困難な状況にあるため、委員確保のための普及活動を支援していく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 運営協議会が開催する講座・教室は、地域コミュニティ形成という本来の役割と必ずしも合致しない内容も含まれており、民間カルチャーセンターの代替になってしまう傾向も見受けられるが、区民ニーズ・集客力共に高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 事業参加者に対し、参加をきっかけに「地域コミュニティ形成」に興味を持ち、その後何らかの活動を始めたか等を検証し、より効果的な事業展開に向けた検討を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 事業参加者にとって、受益度の高い教室・講座等については、材料費や施設使用料等、施設の維持管理や事業の継続性を確保するために相応の金額を参加費とする。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 参加費の事業費への充当により、事業費を節減できる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 地元の各種団体からの推薦及び公募によるボランティアの委員により構成されている地域集会施設等運営協議会(7所)は、住民相互の交流促進等を目的に様々な活動を行う自主的団体であり、協働による効果は高い。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域集会施設の受付業務を民間委託してから数年が経過し、貸し室業務が切り離されたことで、住民の地域力を向上させる事業展開を徐々に進めることができるようになってきている。しかし、依然として趣味や教養をテーマにした教室・講座等の事業展開が中心となっている。これからは、地域の課題解決を指向した講座の企画や多様な団体・個人で構成される運営協議会の特性を生かし、様々な自治活動や地域活動を支援する取組みが行えるよう誘導していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 運営協議会の自主性を阻害しないように配慮しながら進めていく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 現状の事業費で、地域の課題解決能力を養うような事業の展開など運営協議会本来の役割が発揮できるように努める。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		被災者情報管理				整理番号	102		枝番号		
担当部課名	区民生活部地域課			コード	050501	連絡先 電話番号	3763		昨年度 整理番号	昨年度 枝番号	
係名	地域係			上位施策名				No			
予算事業名	地域住民活動推進			コード	11550		地域活動の推進				67
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 18年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 _____ 政策番号 _____ 施策番号 _____ 事業コード _____ <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 小規模災害で被災した世帯、事業者、財産所有者				(1) 杉並区災害復旧対策実施要綱 (2) (3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 災害発生時、被害状況を調査し被災台帳を作成する。また、被災者からの申請に基づき被災証明を発行するとともに、見舞金支給対象者リストを作成する。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 速やかに被災状況を把握することにより、災害復旧に向けた確な態勢づくりに資する。作成した被災台帳を住民基本台帳と突合し、関係各課に情報提供することにより、税・保険料の減免措置や消毒作業等につなげ、迅速な被災者救済を実現する。						
	活動指標名(式) (1) 調査件数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)調査達成率 = 調査件数 ÷ 被災件数 (2)						
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)					2,815	2,815	0	0		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)					100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			15,000	10,247	1,859	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円			15,000	9,939	877			
	職員数(常勤   非常勤)		人				1.20	1.38	1.20	活動指標(1)について、平成18年度の数値は、平成17年9月4日の集中豪雨被災者データをシステムに入力した件数を記載した。平成19年度計画及び22年度目標値については、被災者0を目標とするが、災害が発生した場合は、成果指標100となるよう調査を行うことを目標とする。	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	10,872	12,503	10,872		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	0	25,872	22,750	12,731		
	単位あたりコスト( - )÷		円				9,191	8,082			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	0	0	0	25,872	22,750	12,731			
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			システム構築				1	式	9,939		
			サーバ機器等の賃借				1	式	308		
			その他 ( )						0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 102 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	68.3
	前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)				

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成17年9月4日の集中豪雨被害の教訓から、被災者情報管理の重要性が認識された。その後も大雨洪水警報が発令され、時間あたりの最大雨量が50ミリを超える雨が発生している。都市型水害はいつ発生してもおかしくない状況であり、普段からの調査態勢整備の重要性は増している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並区への移住希望者等から、過去の水害発生状況について照会が多数寄せられており、再発防止に対する期待は非常に大きい。
	今後の予測	都市部のヒートアイランド化が一層進行し、集中豪雨発生の危険度が増す。一方、都建設局が環状七号線下に調整池(54万立米)を設置し、神田川・善福寺川からの取水を開始し、また、区立小中学校等で大規模な雨水流出抑制対策工事が行われる等の対策が講じられている。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 中(理由 )	理由:迅速かつ正確な被災者情報の収集・管理は、災害の状況把握と復旧作業に資する重要な役割を担っている。また、災害に備えたシステム導入により、地域住民の区に対する信頼性向上に貢献している。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:現在の事業費でシステムの保守は行えるが、被災時しか使われないため、災害発生時に混乱を来たさないよう、事前のマニュアル整備や操作研修等を定期的実施することにより実効性を確保する。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:被災者に経費を負担させることは、事業の性質上なじまない。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:今後、システムのメンテナンス料とサーバ機器類の賃借料が主なコストとなるが、システムを良好な状態で維持するためには不可欠であるため。		

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input checked="" type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 小規模災害の被災者情報管理については、紙ベースでの台帳管理を行ってきたが、平成17年9月4日の集中豪雨被害での教訓を基に、パソコンによる電子データでの管理の必要性が認識され、専門業者によるシステム開発と保守、サーバ機器類の賃借を実施した。			
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 システム構築が完了し、今後、災害発生時に混乱を来たさないよう、事前のマニュアル整備や操作研修等を定期的実施することにより実効性を確保・向上させる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	今後はシステムの保守・管理と調査についての説明会、訓練が事業の主な柱となるため、大幅な予算の増減は見込まれない。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		NPO等活動推進協議会運営等					整理番号	103	枝番号		
担当部課名	区民生活部 地域課	コード	050501	連絡先 電話番号	3767	昨年度 整理番号	105	昨年度 枝番号			
係名	地域係 協働推進担当	上位施策名					No				
予算事業名	NPO等活動推進	コード	11650	地域活動の推進					67		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		政策 番号	施策 番号	事業 コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 学識経験者、区民、NPO等活動関係者、その他		(1) 杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例 (2) 杉並区協働推進委員会設置要綱 (3) 平成18年度NPO等との協働に関する事業提案募集要領							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	・NPO等の活動及び協働の推進に係わる調査審議(年4回程度) ・杉並区NPO支援基金の審査(年2回程度) ・区が行うNPO等との協働事業及び協働の進め方等に関する		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・区長の附属機関として、区の協働推進の仕組み等に対する専門的な見地からの意見具申を積極的に行い、よりよい協働の推進に資する。 ・区とNPO等との協働事業のモデルとして選定された事業の評価を行い、よりよい協働実施に結び付ける。							
	活動指標名(式)	(1) 協議会・委員会開催回数 (2) 提案事業数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)委員の平均出席率 (2) 「事業提案制度」選定件数 ÷ 応募件数 = 提案実現率(%)							
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	回	10	12	11	12	13	6	6	216.7	
	活動指標(2)	件	22	35	34	40	18	0	0		
	成果指標(1)	%	95	100	97	100	79	100	100	79.0	
成果指標(2)	%		10	9	10	11	10	0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	966	3,365	2,135	3,265	2,164	1,512	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円	284	340	274	340	294	340			
	職員数(常勤   非常勤)	人			1.96	1.96	1.92	1.92			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	17,758	17,758	17,395	17,395		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	966	3,365	19,893	21,023	19,559	18,907			
	単位あたりコスト( - )÷	円	96,600	280,417	1,808,455	1,751,917	1,504,538	3,151,167			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	966	3,365	19,893	21,023	19,559	18,907			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)					
	協働推進委員会運営					315					
	NPO等活動推進協議会運営					1,110					
	協働推進事業					739					
	その他 ( )					0					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 103 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	108.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	45.0	18年度予算 執行率%	66.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)		協議会について計画を上回る7回の会議を実施した。 平成17年度に創設した「協働事業評価制度」に基づき、選定された協働事業で17年度実施 の2事業について、実施後評価会議を、協働推進委員会において実施した。また、18年度 実施の3事業について、中間評価会議をNPO等活動推進協議会において実施した。 協働事業提案制度に基づき、2事業を選定した。					
事業 環境 の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	NPO等活動推進協議会は、平成14年9月に設置した区長の附属機関であり、NPO支援基 金助成審査を行うとともに、区の協働推進の仕組みづくり等について審議・検討している。ま た、平成16年度から設置された協働推進委員会は、区とNPO等との協働事業提案の審査 や評価を行ってきたが、協働事業提案制度が3か年のモデル的实施を終了したことにより、現 在は休止している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	協働事業提案制度のモデル的实施が終了したことにより、それに代わる支援事業の創設が 期待されている。					
	今後の予測	「協働ガイドライン」に基づく区独自の協働推進の仕組みの検証・見直しや、NPO等を支援する ための新たな制度の創設など、協議会が果たすべき役割はますます高まっていく。 また、協働事業評価制度を実施することで、協働の質の高まりと、NPO等とのよりよい協働の 実現が期待できる。					
事業 の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きいか  貢献度 大(理由 )	理由: 協議会、協働推進事業の実施等を通じ、区のよりよい協働推進 に向けた基盤づくりに寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか  できる( ^ )  成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 報告案件の精査や資料の事前配布などによ り協議事項の審議が効率的に行われるよう努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は  ない(理由 )	理由または具体的内容: 会議運営経費であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか  ない(理由 )	理由または具体的内容: 条例・規則に基づき設置されている附属機関 であり、今後とも現状同様の委員数が必要である。					
協働 等 点 検	(1) 協働等は実現しているか  実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 条例で設置している付属機関なので、協働 の概念からは外れる。					
	(3) 協働等の形態						

今 後 の 事 業 の あり 方 (中 長 期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並区行政サービス民間事業化提案制度など、区の新しい取り組みや動きを踏まえ、区の協働推進の仕組み等につい て、引き続き専門的な見地から積極的な審議を行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 積極的な審議を確保していくことができるよう、より一層柔軟な事務局運営に努める。	
2 0 年 度 方 針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 協働事業提案制度が16年度からの3か年のモデル的实施を終了したことにより、協働事業評価制度による選定事業の評 価会議も20年度には実施後評価会議1回を残すだけになるため、それらに掛かる事務的経費や報酬等が減額になるが、 協働事業提案制度にかかわる支援事業創設等の課題の審議等、協議会が担う役割は大きくなることが予想されるため。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			区民会館維持管理運営(4施設)					整理番号	107	枝番号		
担当部課名			区民生活部 地域課		コード	050504	連絡先 電話番号	3765	昨年度 整理番号	110	昨年度 枝番号	
係名			地域施設係		上位施策名					No		
予算事業名			地域集会施設等維持管理		コード	12500	地域活動の推進					67
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策 番号	施策 番号	事業 コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第244条 (2) 杉並区立区民会館条例 (3) 杉並区立区民会館条例施行規則				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			ホール、集会室等を地域住民に貸す。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持管理を行うことにより、区民の文化、学習交流活動を促進する場を確保、提供する。				
	活動指標名(式)			(1) 総申し込み回数 (2) 有料利用者数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 利用率 総申込回数÷使用可能回数 (2)				
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		回	8,950	9,021	9,776	9,299	9,192	7,329	7,329	125.4	
	活動指標(2)		人	115,401	116,566	174,469	168,238	153,408	153,408	153,408	100.0	
	成果指標(1)		%	51	52	47	50	60	49	50	119.8	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	71,547	72,479	69,725	59,686	56,023	62,517	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 18年4月1日で高円寺 会館は廃止		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	53,472	53,760	51,829	44,390	41,768	43,949			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.74 36.00	1.74 35.00	1.67 36.00	1.67 30.00	1.72 17.00	1.72 17.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	15,834	15,764	15,130	15,130	15,583	15,583		
		非常勤職員分		千円	103,680	101,150	104,040	84,900	48,110	48,110		
	総事業費 ++		千円	191,061	189,393	188,895	159,716	119,716	126,210			
	単位あたりコスト( - )÷		円	21,348	20,995	19,322	17,176	13,024	17,221			
	財源	受益者負担分		千円	25,763	23,402	26,395	17,150	19,945	17,094		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	25,763	23,402	26,395	17,150	19,945	17,094				
差引:一般財源 -		千円	165,298	165,991	162,500	142,566	99,771	109,116				
受益者負担比率 ÷		%	13.5	12.4	14.0	10.7	16.7	13.5				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			区民会館維持運営					4	所	56,023		
			その他 ( )							0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 107 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	98.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	91.2	18年度予算 執行率%	93.9

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	1 指定管理者制度の導入による施設管理等の効率化については、引き続き費用対効果等検討中。 2 団体登録使用料制度における利用者負担率の適正化は引き続き検討中。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	1 集会室等については、地域区民センター等機能が類似する施設が建設されている。 2 施設の老朽化により、修繕費の負担が増加している。 3 和田堀会館についてはホールの機能を持たず、また施設の老朽かも相まって利用率が低迷している。(利用率29%)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公共施設予約システム導入後、地域団体登録制度のカード不正所持や、個人から団体への付け替え行為等による、ホール施設の予約がとりづらくなった。
	今後の予測	1 維持管理については、施設や備品に一層老朽化が懸念され、修繕費が増加するものと思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 地域のふれあいや文化活動の推進を施設的な側面から支えている。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:	
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設の適正利用の推進	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設使用料及び団体登録使用料制度の見直しが必要。	
(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: ISOの指針に基づき、省エネの一層の推進を図り、コストを低減させていく。		

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1 指定管理者制度の導入による施設管理等運営の効率化。 2 施設使用料及び団体登録使用料制度の見直し。 3 施設の適正利用対策の推進。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 1 地域区民センターと異なり、概して施設規模が小さいため、指定管理者制度の導入に際しては、現行の管理体制とのコスト比較について厳密に検証していく必要がある。 2 利用者の理解を得、他施設との整合性を図る必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	老朽化している施設及び施設利用者用備品等の修繕費。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理運営管理等委託(地域区民センター・区民集会所)				整理番号	108		枝番号		
担当部課名	区民生活部 地域課	コード	050504		連絡先 電話番号	3765		昨年度 整理番号	111 昨年度 枝番号		
係名	地域施設係				上位施策名			No			
予算事業名	地域集会施設等維持管理		コード	12500		地域活動の推進			67		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策 番号	施策 番号	事業 コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		施設利用者及び利用団体		根拠法令等 (1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例 (3) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例施行規則					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	施設の集会室、体育室、音楽室、工芸室等を地域住民等の施設利用者に貸し出す。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) コミュニティ活動の拠点である地域区民センター等が適切に維持管理・運営されることにより、活発な施設利用が行われる。					
	活動指標名(式)	(1) 施設利用回数 (2) 有料利用者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 施設利用回数(トレーニング室除く) ÷ 最大申込可能数 (2)					
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	回	130,329	126,000	151,120	133,980	153,225	144,891	144,891	105.8	
	活動指標(2)	人	660,612		1,177,547	1,172,456	1,007,468	948,542	948,452	106.2	
	成果指標(1)	%	56	54	65	57	68	62	62	109.7	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	758,294	861,294	688,117	931,149	712,906	902,203	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	511,767	609,021	449,701	617,532	467,867	632,296			
	職員数(常勤   非常勤)	人	7.55   0.00	7.55   0.00	7.26   0.00	7.26   0.00	7.45   0.00	7.45   0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	68,705	68,403	65,776	65,776	67,497	67,497		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	826,999	929,697	753,893	996,925	780,403	969,700			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	6,345	7,379	4,989	7,441	5,093	6,693			
	財源	受益者負担分	千円	137,659	130,964	141,526	131,705	142,200	138,422		
		国・都等からの支出金	千円	4,455	5,393	4,628	4,533	5,774	4,781		
特定財源計 +		千円	142,114	136,357	146,154	136,238	147,974	143,203			
差引: 一般財源 -		千円	684,885	793,340	607,739	860,687	632,429	826,497			
受益者負担比率 ÷	%	16.6	14.1	18.8	13.2	18.2	14.3				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	施設維持管理運営(地域区民センター7所、区民集会所10所)						17	所	712,906		
	その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 108 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	114.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	85.9	18年度予算 執行率%	76.6
		当事業の中核となる建物総合管理業務等委託契約につき、設計価格からの落差金額が大きなものとなったことが執行残の主要要因である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体登録使用料制度における適正な受益者負担について、引き続き検討中。</li> <li>・経理課の入札制度が改正され複数年契約が可能となったことから、19年度より、3センター(荻窪・阿佐谷・高円寺)の建物総合管理業務等委託契約について複数年契約を導入した。</li> </ul>					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設運営に関する使用者の要望がより多様化し、要望に対する機敏な対応が必要となった。</li> <li>2 厳しい財政状況から、より効率的な運営方法が要求される。</li> </ol>					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 受託業者職員の接客の向上。</li> <li>2 施設整備・備品(運動機器、音響設備等)の買い替え。</li> <li>3 行政使用、運営協議会使用が一般使用を圧迫している。</li> </ol>					
	今後の予測	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区民の地域活動を支える拠点として区民センター等の必要度は益々高まっていく。より広範な層の活動参画を求めるため勤労者層・若年者層がより利用しやすい施設運営に配慮していくことが求められる。</li> <li>2 施設維持管理については、老朽化に伴う大規模修繕、計画修繕の必要性が増すものと思われる。</li> </ol>					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: 多様で自主的な地域住民活動の場として定着し、地域活動の推進を施設的な側面から支えている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 資質評価型複数年契約を導入することにより、より良質な事業者を選定し、質の高い施設の総合管理を行うことで、利用者の満足度を高めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 使用料の適正化につき、地域団体登録制度による減額を含めた見直しを行うことが可能である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: ISOの指針に基づき、光熱水費等省エネの一層の推進や計画的な修繕等により増大する施設コストを低減させていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 : ほぼすべての業務に関して委託しているが、指定管理者制度の導入については今後の検討課題とする。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・平成19年4月から一部施設において導入した資質評価型複数年契約を、他の施設にも順次導入する。 ・施設の利用実態や利用ニーズを踏まえた利用時間帯の設定など、施設の適正利用に向けて検討する。 ・適正な受益者負担という視点から、地域団体登録制度のあり方等について引き続き検討する。 ・18年度に行った荻窪地域区民センターの大規模修繕に続き、他施設についても順次、大規模修繕、計画修繕を検討する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 使用料の見直し等については、利用者の理解を得ていくことが必要となる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 19年度より3センターの建物総合管理委託契約において導入した複数年契約を、他の施設についても順次導入していく。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共施設予約システム維持管理						整理番号	109	枝番号			
担当部課名	区民生活部 地域課	コード	050504		連絡先 電話番号	3765		昨年度 整理番号	113	昨年度 枝番号			
係名	地域施設係		上位施策名						No				
予算事業名	公共施設予約システム維持管理		コード	11710		地域活動の推進				67			
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		15年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード							
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		施設の利用者及び利用団体		根拠法令等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	公共施設予約システム「さざんかねっと」による施設の利用申込制度を適正に管理運用し、システムを利用しやすいように改修する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が施設利用申込・教室(講座)申込を簡単・便利に利用できるようにする。また、抽選申込等の機能などにより公平に施設利用・教室(講座)申込ができるようにする。							
	活動指標名(式)	(1) システムによる施設申込回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 施設有料利用者数 (2)									
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度 計画 実績		18年度 計画 実績		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)		256,831	257,000	237,960	247,395	228,476	247,395	257,000	88.9			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		1,119,647	1,120,000	1,144,999	1,132,323	1,689,360	1,726,525	1,764,508	95.7			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	75,144	84,897	85,347	73,558	64,164	64,164	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	64,694	68,928	56,332	54,398	51,659	51,659					
	職員数(常勤   非常勤)	人	5.22   0.00	5.22   0.00	5.02   0.00	5.02   0.00	5.16   0.00	5.16   0.00	施設有料利用者数の18年度実績は、他所管の施設も含めて算出した。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	47,502	47,293	45,481	45,481	46,750			46,750		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	122,646	132,190	130,828	119,039	110,914	110,914					
	単位あたりコスト( - )÷	円	478	514	550	481	485	448					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	122,646	132,190	130,828	119,039	110,914	110,914					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)				
	公共施設予約システム維持管理経費								64,164				
	その他 ( )								0				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 109 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	92.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	87.2
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		スポーツ施設と同一契約にしてコスト増を抑えている。 システム改修については予算の範囲内で最大の効果が出るよう、利用者の要望等を踏まえ、修正内容を検討し実施した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	システム稼働から3年余りが経過し、システムとしては安定期に入っている。 しかし、システムの詳細を理解した利用者が、重複登録や予約の付替などの不正利用を行うようになったため、さざんかカード登録団体の登録要件を改正し、重複登録について対策を講じた。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・重複登録や予約の付替などの不正利用による利用機会の不公平是正。 ・利用制限対象期間の延長(利用日3日前にキャンセルされても他の利用者は都合がつかない。キャンセル可能期間が長すぎる)				
	今後の予測	システム導入により、勤労者や若年層へと利用者層が広がり、地域的にも区全域や区外からの利用が増大したが、今後もこの傾向は進むと思われる。その分、施設状況を調べずに訪れる利用者とのトラブルや、重複登録等不正利用、営利目的利用等のさらなる防止対策も必要となる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:施設申込みの利便性を時間的・空間的に飛躍的に向上させることで、多様な層の施設利用のニーズに応え、ひいては地域の文化・コミュニティ活動等が活発になる環境を整備できるため。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:公平な利用の機会を保障し、利用者の満足度を高めるために、不正利用などを防止する枠組みを作る。そのために制度の検証・改正を行っていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:地域団体登録制度の減額規定の見直しについて、制度的側面からの検討を行う。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: システム運用業務委託業者との適正価格による契約交渉をこれまで以上に厳格に行っていく。 地域団体登録制度の減額規定の見直しを検討していく。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 集会施設及びスポーツ施設の公共施設予約システム運用(保守管理)を民間業者に業務委託している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1 施設の適正利用を行うための枠組みについて検討され、これからシステム改修の可能性を含めた方向性を検討していく。 2 施設使用料及び地域団体登録制度等減免制度の適正化についての検討会を立ち上げ、適正な受益者負担等の検討を進める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 1 施設利用者とりわけ8割を占める地域登録団体の減額見直しには利用者の理解を得るための努力が必要。また、減免制度適用基準の明確化が求められる。 2 適正利用対策を行っていくためには利用者全般の理解と協力が不可欠となる。 3 システムの入替は、利用者に与える影響が非常に大きいので、慎重に検討していく必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	適正利用、施設使用料及び地域団体登録制度等減免制度の適正化を図るためには、システム改修を伴う可能性が高いため人的、物的なコストが必要となる。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区政協力委託			整理番号	110	枝番号					
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501	連絡先 電話番号	3764	昨年度 整理番号	114	昨年度 枝番号				
係名	地域係	上位施策名			No							
予算事業名	町会・自治会活動支援	コード	11450	地域活動の推進			67					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区政協力委託(区掲示板へのポスター掲出、ちらし等の回覧、公園、街頭消火器等公共設備等の損壊通報等)を締結するを円滑、適正に行うため、杉並区町会連合会に対し事務処理と連絡調整を委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域に定着した業務を町会・自治会に委託することにより、より地域活動を活性化させ、良好な地域社会の形成を目指す。						
	活動指標名(式)	(1) 委託契約を結んだ町会・自治会数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区掲示板へのポスター掲出枚数(代) (2)						
区政協力委託(委託等)					No							
町会・自治会活動支援					67							
事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード				
事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区政協力委託(区掲示板へのポスター掲出、ちらし等の回覧、公園、街頭消火器等公共設備等の損壊通報等)を締結するを円滑、適正に行うため、杉並区町会連合会に対し事務処理と連絡調整を委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域に定着した業務を町会・自治会に委託することにより、より地域活動を活性化させ、良好な地域社会の形成を目指す。							
活動指標名(式)	(1) 委託契約を結んだ町会・自治会数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区掲示板へのポスター掲出枚数(代) (2)							
区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
				計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	町会	161		166	161	166	160	161	166	96.4	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	枚	18,135		18,135	18,628	18,628	18,945	18,945	18,945	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	39,593		40,408	39,790	40,617	40,134	41,242	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円	39,593		40,408	39,790	40,617	40,134	41,242			
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.74	0.00	1.74	0.00	1.67	0.00	1.67	0.00	1.50	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	15,834		15,764	15,130	15,130	13,590	13,590		
		非常勤職員分	千円	0		0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	55,427		56,172	54,920	55,747	53,724	54,832			
	単位あたりコスト( - )÷	円	344,267		338,386	341,118	335,825	335,775	340,571			
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0		0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	55,427		56,172	54,920	55,747	53,724	54,832			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)						
	区政協力委託(委託等)			160	町会	40,134						
	その他 ( )					0						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 110 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	96.4	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	98.8
	前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	町会加入率は減少または横ばい傾向にある。また、町会役員の高齢化や後継者難にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	ポスター掲示やチラシの回覧などの依頼件数が増加傾向にあり、委託金の増額等の要望や委託事項について、負担感を訴える声もある。
	今後の予測	区掲示板のPFI方式導入による設置基数の増加や区からの協力依頼が増加傾向にあることから、事務量が増加している。 マンション世帯の増加や多様な価値観の中、町会加入率の急激な上昇は難しい。しかし、災害時や防犯に関するボランティア活動・行政との連携など、町会が地域で果たす役割は一層重要となる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区政協力委託については、低コストで地域全体の生活環境維持、区が行う各種事業への協力、区政情報の周知などが図られる。また、委託業務は各町会活動の活性化の一助となる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 定年等により地域に戻ってくる団塊の世代等をはじめ多様な世代に町会・自治会活動の参画を求め、より地域活動を活性化させていくことを通し良好な地域社会の形成を目指す。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 益者負担を伴う性質の事業ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 町会に対する協力依頼は年々増えていること、区政協力委託契約は平成12年度から始まった委託契約で、委託業務については各町会に浸透したこと、区からの協力依頼が増加傾向にあることから、委託内容の見直しや事業費の削減は慎重に考えるべきである。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ちらし等の回覧や公園、街頭消火器等公共設備・備品等の破損通報、各種統計調査の実施など、区政全般にわたる協力に対して包括的な委託契約を結んでいる。また、区と町会・自治会は密な連絡調整を行っており、協働の実現度は高い。
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 役員の高齢化や後継者難、加入率の低迷といった課題が一様に指摘されている。安全安心の住みよいまちを築いていく上で、町会・自治会の活性化は不可欠であり、今年度から支援等を体系的に組み立て実施に移していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 町会・自治会活動を担っている役員の高齢化。定年等により地域に戻ってくる団塊の世代と呼ばれる人たちの協力を求める。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		